

独立行政法人酒類総合研究所契約監視委員会

第2回定例会議審議概要

開催日時	平成22年12月22日(水) 10:00~12:00		
開催場所	独立行政法人酒類総合研究所広島事務所 2階 特別セミナー室		
委員名簿	委員長 堀村 不器雄 (研究所監事 公認会計士) 委員 相澤 吉晴 (広島大学大学院社会科学研究所教授) 委員 瀧 敦弘 (広島大学大学院社会科学研究所教授) 委員 田邊 尚 (田邊尚法律事務所 弁護士) 委員 沼野 伸生 (研究所監事)		
研究所出席者名簿	総務課長 酒井 正三 研究企画知財副部長 山岡 洋 総務係長 宮川 誠 会計係長 河瀬 潔		
抽出案件 (内訳)	平成21年度 26件	(案件の審議) 左記の抽出案件すべてについて審議を行った。 ※ 次の「契約年度」欄には、平成21年度契約分を「H21」、平成22年度上半期分を「H22 上」と表示している。	
	平成22年上半期 16件		
	(合計) 42件		
随意契約	平成21年度 4件 平成22年上半期 3件		
一者応札	平成21年度 22件 平成22年上半期 13件		
委員会からの意見の具申等	特になし。		
1 委員からの意見・質問、それに対する回答等(随意契約)			
契約件名	契約年度	意見・質問	回答等
上下水道供給業務 (広島事務所)	H21 H22 上	提供を行うことが可能な業者が一であることから随意契約によらざるを得ない契約であり、見直し点はない。	—
上下水道供給業務 (東京事務所)	H21 H22 上	提供を行うことが可能な業者が一であることから随意契約によらざるを得ない契約であり、見直し点はない。	—
液化石油ガス供給業務	H21 H22 上	提供を行うことが可能な業者が一であることから随意契約によらざるを得ない契約であり、見直し点はない。	—
電気供給業務 (広島事務所)	H21	平成22年度から一般競争入札へ移行しているため見直し点はない。	—

2 委員からの意見・質問、それに対する回答等（一者応札）			
契約件名	契約年度	意見・質問	回答等
損害保険（火災）の付保	H21 H22 上	入札辞退者へのヒアリング及び他独法の契約を参考に、地震保険について改善する余地があるか検討する必要がある。	情報を収集して仕様書の見直しを検討する。
情報システムの運用及び管理業務	H21 H22 上	入札辞退者へのヒアリングを行い、仕様書の見直しの必要性を検討する必要がある。	情報を収集して仕様書の見直しを検討する。
広島事務所昇降機設備保守点検業務	H21 H22 上	入札参加資格を同型の点検業務実績から同メーカーの点検業務実績へ変更することにより広く機会を与えることができないか検討する必要がある。	利用者の安全面についても考慮する必要があるため、慎重に対応する。
自動制御機器定期保守点検業務	H21 H22 上	入札辞退者へのヒアリングを行い、仕様書の見直しの必要性を検討する必要がある。	情報を収集して仕様書の見直しを検討する。
質量分析計の年間保守業務	H21 H22 上	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことも一般的であることから、一者応札もやむを得ない。	—
DNAシーケンサーの年間保守業務	H21 H22 上	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことも一般的であることから、一者応札もやむを得ない。	—
PEPD検出器付GCシステムの年間保守業務	H21 H22 上	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことも一般的であることから、一者応札もやむを得ない。	—
加熱脱着装置付GC/MSDの年間保守業務	H21 H22 上	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことも一般的であることから、一者応札もやむを得ない。	—
ファイトトロン施設保守点検業務の委託	H21 H22 上	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことも一般的であることから、一者応札もやむを得ない。	—
液体クロマトグラフ質量分析装置の年間保守業務	H21 H22 上	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことも一般的であることから、一者応札もやむを得ない。	—
複合機等の保守業務	H21 H22 上	広島事務所と東京事務所の保守を分けた仕様書にすることを検討する必要がある。 また、リース契約はどうか。	意見を踏まえて検討する。

契約件名	契約年度	意見・質問	回答等
デジタルフルカラー複合機の保守業務	H21	平成 22 年度において、「複合機等の保守業務」に含まれていることから見直し点はない。	—
産業廃棄物収集運搬・処分委託業務	H21 H22 上	参加資格にある取扱の許可を持っている者が一者しかいないため、やむを得ない。	—
全国新酒鑑評会製造技術研究会運営業務	H21	平成 22 年度において、複数応札となっていることから見直し点はない。	—
廃水処理施設の維持管理業務	H21	平成 22 年度において、複数応札となっていることから見直し点はない。	—
東京事務所で使用する電気	H21	平成 22 年度において、複数応札となっていることから見直し点はない。	—
葡萄圃場維持管理業務	H21	平成 22 年度において、仕様書の見直しによる経費削減が行われ入札対象外となっていることから見直し点はない。	—
芋焼酎原料用甘藷試験栽培及び圃場維持管理業務	H21	平成 22 年度において、仕様書の見直しによる経費削減が行われ入札対象外となっていることから見直し点はない。	—
ガスクロマトグラフ質量分析装置の年間保守業務	H21	平成 22 年度において、仕様書の見直しによる経費削減が行われ入札対象外となっていることから見直し点はない。	—
便器洗浄装置賃貸借業務	H21	平成 22 年度において、仕様書の見直しによる経費削減が行われ入札対象外となっていることから見直し点はない。	—
電子顕微鏡の年間保守業務	H21	平成 22 年度において、仕様書の見直しによる経費削減が行われ入札対象外となっていることから見直し点はない。	—
酒造好適米試験栽培業務の委託	H21	前回の定例会議で、非常勤職員による対応とした指摘事項は、実施困難であることは理解するが、他者が入札に参加しやすいよう入札資格の検討を行う必要がある。	入札資格ついて検討する。
広島事務所で使用する電気	H22 上	使用電力量が大きく、供給できる者が限られるので一者応札もやむを得ない。	—